

開成南小学校 学校だより

みなみの風



平成
30年
9月

天高く秋の空へ届け！ 「絆」の思い！！ 開成南小運動会

9月22日(土)
雨天等の場合順延



“絆～仲間と協力し挑戦しよう～”

今年度の運動会のスローガンです。夏休み前に児童の企画委員会が決定してくれました。

今年は例年にない大雪と寒さ、早すぎる春の訪れ、早くて短かった梅雨、そして「災害レベル」とまで言われた暑くて長い夏の酷暑など、環境に体調を合わせるのがたいへん難しい中で、運動会の時期を迎えました。

9月に入っても秋雨に悩まされる日が続き、グラウンドでの練習時間がなかなか確保できませんでした。

9年目で初ですが、これまでの学級を中心とした赤・白・黄の色別三色対抗から、各学級を二つに分けた“紅白編制”を取り入れる大幅なレギュレーション変更の改革に向けて準備してきました。

開成南小学校運動会のまた新たな進化が今年度から始まっています。

御声援、御理解をお願いします。



“仲間と協力し最後までやりとげよう” ～9月の重点目標～

9月6日(木)
児童代表委員会

運動会練習が佳境となってきた9月6日(木)に、今年度5回目になる代表委員会が開催されました。2学期となり、3学年以上の各学級から選出された代表委員のメンバーが変わったり、初めて参加する児童も多かったりしたようでしたが、「学級の代表なのでしっかり務めていきたいです。」「初めての代表委員ですが一生懸命頑張ります。」など、立派で心強いあいさつもありません。

今回の議題は、来る運動会を意識して、

① 9月の重点目標 「仲間と協力し最後までやりとげよう」

② 運動会の全体練習について 企画委員会から全校へ呼びかけ

③ 運動会応援団長あいさつ 当日に向けての意気込み紹介

の三本立てでした。

担当の工藤教諭から「今日のこの場には、心地よい緊張感が流れています。心配し過ぎず、学校全体を視野に学級のまとまりに尽力してください。この雰囲気があれば、目標に沿ったすばらしい運動会に仕立てられることが、大いに期待できます！」との講評をいただきました。

夏休みを経て、たくましく、頼もしくなりましたね。

「応援団長あいさつ」より

紅(赤)組団長
府川大和さん

白組団長
高橋雄大さん

「紅(赤)組の全員が全力で応援することで、選手一人ひとりが全力を出し切れるようにします！」

「『絆』をいちばん大切にして、平成最後となる運動会で、白組を優勝へと導きたいです！」





かながわシェイクアウト訓練(いっせい防災行動運動) 9月5日(水)

参加しよう **かながわシェイクアウト**
2018年 **9/5(水) 11:00** 7/1～10/31の曜日で実施
参加費無料(会場費は別途) 会場は各自治体の指定する場所です

それぞれの
ご家庭・学校・職場などで
みんなで参加、そろって1分間安全行動を！

シェイクアウトとは——
大地震・大津波に備えて、身を守るための安全行動です。
地震の発生を感知したら、直ちに安全な場所へ移動し、1分間安全行動を行います。

平成 30 年 9 月 6 日 (木) 未明の平成 30 年北海道胆振(いぶり)東部地震により被災された方々に心より御見舞申し上げます。

9月1日は「防災の日」であり、2日(日)は町防災訓練日でした。

開成南小では4日(火)の「地区別下校」に続き、5日(水)の「かながわシェイクアウト」に参加しました。

特別教室や体育館での訓練参加もあったようですが、児童たちが真剣に取り組む姿に、「自分ごと」としてとらえている姿に、安全に対する自信を少し深めた日となったと感じました。

”天災は忘れた頃にやってくる”

by 寺田寅彦



「シェイクアウト訓練」

とは？



不特定多数の者が一斉にそれぞれの場所で

1: DROP! (まず低く!)

2: COVER! (頭を守り!)

3: HOLD ON! (動かない!)

等の安全確保行動を行う防災訓練です。

今年の事前登録エントリーは 3,590,243 名に達している(9/13 現在)そうです。

(H29 年は、のべ 6,668,692 名)

次回は 11 月 1 日(木)の「津波防災の日」の実施が呼び掛けられています。



国際理解朝会

「うしは どこでも OO!」



9月11日(火)

「動物の鳴き声」

○ 英語での一般的な表現

牛「moo」

犬「bowwow」「woof」

猫「meow meow」「mew」

蛙「croak croak」

「ribbit」

豚「oink oink」

羊「baa baa」

馬「neigh」



今回のテーマは「国際理解」。呉地教諭と児童たちの軽妙な外国語の挨拶のやり取りから始まり、担当の片野教諭を中心に、「うしはどこでもモー!」の絵本にある、イヌ、カエル、アヒル、ニワトリのそれぞれの動物の鳴き声について、イギリス、スペイン、フランスそして日本ではどう発音(表音)しているか等の違いを、楽しく理解しました。最後に原田教諭から開成南小図書室の「国際理解コーナー」の本の紹介もありました。

差異を楽しむ視点で理解や考えを深めて、コミュニケーション力を高めよう!



季節のたより

今年度も折り返し地点になります。とは言うものの、学校のサイクルでは、昼間の時間が長い春から夏にかけてが、慌ただしくかつ大忙しの期間であり、秋から冬にかけての期間は、慣れもあるのですが、どちらかというところ、じっくり力を蓄え、人間としての深みを増し、次に備える期間と感じられることが多いようです。

“食欲”をはじめとして、“芸術”“スポーツ”“読書”など、「秋」の呼び名は数多あるようですが、サトウハチロー作詞、中田喜直作曲の童謡「ちいさい秋みつけた」は、昭和生まれも、平成生まれも、誰もが知っている秋の名曲に挙げられるのではないのでしょうか。

サトウハチローの師匠は、昭和 50 年代に映画の主題歌として英訳もされて用いられた詩「ぼくの帽子」の作者の西条八十です。この二つの詩(詞または歌)を鑑賞すると、青く



澄み渡って遥か上の成層圏まで高く続くような瑠璃色の秋空を、私は思い出します。



石川啄木の短歌「不来方(こずかた)のお城の草に寝ころびて 空に吸わ(は)れし十五の心」も、季節については諸説がありますが、「秋の空である」という解釈もあります。

秋は是非、空を見上げて過ごしていきたいと考えています。時代が移っても変わらず美しく、果てしなく青い大空。今年も心が豊かに深まる季節であるよう期待しています。(担当)

